

項目	内容
名称	サツマイモ [英]Sweet potato [学名]Ipomoea batatas (L.) Lam.
概要	<p>サツマイモは、熱帯アメリカ原産のヒルガオ科の多年草。多くの品種があり、食用、食品加工用、でんぷん・アルコール・飼料用など、用途に適する性質の品種育成が行われている。九州から沖縄で育成される肉色がアントシアニンによる紫色を呈する品種は、紫イモや紅イモと呼ばれる。また、ブラジル原産の品種であるカイアポイモは白甘藷とも呼ばれる。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」にも該当しない。</p> <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存添加物 ムラサキイモ色素：着色料 ・ 一般飲食物添加物 サツマイモセルロース：製造用剤、増粘安定剤
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤラピン、ポリフェノール類（クロロゲン酸など）を含む（76）。

分析法

・紫イモエタノール抽出物のアントシアニンをHPLCおよびLC-MSにより分析した報告がある (102)。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	RCT : 国内 ・肝機能マーカーが高めの成人男性38名 (試験群20名、平均42.1±1.4歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、紫サツマイモ塊茎ジュース125 mL (アントシアニン200.3 mg含有) ×2回/日を8週間摂取させたところ、肝機能マーカー (ALT、γ-GTP) の低下が認められた。一方、肝機能マーカー (AST) に影響は認められなかった (PMID:17299464)。
糖尿病・内分泌	RCT : 国内 ・空腹時血糖が高めの成人66名 (試験群31名、平均53.4±7.8歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、カイアポイモ粉末3.12 g (カイアポイモ由来糖ペプチド0.4 mg含有) ×2回/日を12週間摂取させたところ、糖代謝マーカー (空腹時血糖) の上昇抑制が認められた。一方、その他の糖代謝マーカー (糖化アルブミン、HbA1c、空腹時インスリン、HOMA-R) に影響は認められなかった (2007054574)。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
 (76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社
 (101) 新・櫻井総合食品事典 同文書院
 (102) Breed Sci. 2003;53(2):101-7.
 (2007054574) 健康・栄養食品研究. 2006;9(1):27-42.
[\(PMID:17299464\) Eur J Clin Nutr. 2008 Jan;62\(1\):60-7.](#)